

## 富山県の学校コードに係る付番方針について

「学校コードの取り扱いについて」に基づき、新たに学校コードを付与する際の付番方針を以下のとおり定める。

### 1. 学校番号の構造

新たな学校コードの構成（数字とアルファベットで構成される12桁）

学校種（2桁） - 都道府県番号（2桁） - 設置区分（1桁） - 学校番号（7桁）

学校コードの構成要素である学校番号（全7桁）の付番について、以下の通り各桁の番号を扱うこととする。

<第1桁から第3桁までの3桁の番号>

学校が所在する市町村を区別する番号として用いることとし、当該番号には、全国地方公共団体コードにおいて定められた市区町村コードを準用する。

- ・富山市 201      ・高岡市 202      ・魚津市 204      ・氷見市 205      ・滑川市 206
- ・黒部市 207      ・砺波市 208      ・小矢部市 209      ・南砺市 210      ・射水市 211
- ・舟橋村 321      ・上市町 322      ・立山町 323      ・入善町 342      ・朝日町 343

<第4桁、第5桁、第6桁及び第7桁>

第3桁までにより区分される市町村の域内の学校について、学校種ごと及び設置区分ごとに、0001から順に付番する。（各校種等別、公私立別に付番する。）

- ・幼稚園……………6001から      ・幼保連携型認定こども園…7001から
- ・小学校……………0001から      ・中学校……………3001から
- ・義務教育学校……………4001から      ・高等学校……………5001から
- ・特別支援学校……………9001から      ・専修学校……………8001から
- ・各種学校……………8501から      ※これまでの学校番号の学校種をできるだけ踏襲

※学校基本調査におけるこれまでの学校調査番号 学校番号（4桁）

国公立幼稚園：6000番台、 私立幼稚園：7000番台、 幼保連携型認定こども園：A000番台  
国公立小学校：0000番台、 国公立中学校：3000番台、 公立高等学校：5000番台  
義務教育学校：C000番台、 特別支援学校：9000番台、 専修学校：9000番台、  
各種学校：8000番台

※ 例：富山市立××小学校……………B1-16-2-2010001

富山県立××高等学校（所在地：魚津市）…D1-16-2-2045001

## 2. 学校コードの付与

学校コードについては、「学校コードの取り扱いについて」に基づき、本付番方針に従い付番した学校番号を基礎として文部科学省において付与するものを用いる。

## 3. 学校コードの変更

学校コードは、一旦付与した後は変更しないことが基本であるが、例外として、

- ① 学校番号以外の学校コードを構成する要素（学校種、都道府県番号、設置区分）に変更が生じた場合、
- ② その他、学校コードを運用する上で①に準ずる真にやむを得ない事由が生じた場合、

に該当する場合であり、学校コードを変更する必要があると思慮するときには、文部科学省に対し、学校コードの変更の必要性について申し出ることとする。